

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	レファレンスサービスの充実（施策23）	担当課 図書館						
内 容	市民の日常生活や趣味、仕事に関する様々な課題を解決するため、適切な資料や情報の提供に努めます。調べものに役立つデータベースの導入や「メールレファレンス」の実施など、レファレンスサービスを充実します。							
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館の開館に伴い、下表のとおりレファレンス件数が大幅に増加しました。 ・サービスデスクや電話だけでなく、メールによるレファレンスを試行しました。 ○レファレンス件数 <table border="1" data-bbox="512 819 1348 1016" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>4,320 件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 (1月末現在)</td> <td>11,583 件 (うちメールレファレンス：32 件)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・中日新聞や法律の情報など、データベース8種類を導入し、さまざまなジャンルの情報を閲覧できるようになりました。 ・中央図書館が国立国会図書館のデジタル化送信サービスを受ける承認館となったことにより、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネットで公開されている資料のほかに、絶版等の理由により入手できない貴重な資料のデータの閲覧及び印刷が可能となりました。(印刷件数：108件 令和4年1月末現在) 		年度	件数	令和2年度	4,320 件	令和3年度 (1月末現在)	11,583 件 (うちメールレファレンス：32 件)
年度	件数							
令和2年度	4,320 件							
令和3年度 (1月末現在)	11,583 件 (うちメールレファレンス：32 件)							
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス件数が増加しているため、職員のレファレンススキルを向上させるとともに、利用者自身でも図書館資料を活用して調べものができるよう調べ方ガイドを整備する必要があります。 ・データベースについては、導入から日が浅く、十分に活用されていないため、利用促進を図る必要があります。 							
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が、自分の調べたいテーマに関する図書にたどり着くための調べ方を案内するリーフレット（パスファインダー）の作成に取り組みます。 ・データベースの利用促進のため、PRを行うとともに、利用件数や利用者からの要望を参考とし、導入するデータベースを適宜見直します。 <p>※パスファインダー（pathfinder）とは 英語で「開拓者」「先駆者」の意味。図書館情報学において、特定のテーマに関する文献や情報の調べ方を提供するツールのこと。</p>							